

『有機農業』の父

一樂照雄

いぢらくてゐる



一樂照雄伝より引用

11月末まではAR体験として一樂ご子息様の声でAI一樂先生が協同組合と有機農業について語りかけます。

スマホでAR体験



①音声^①をONにして、上部にあるQRをカメラで読み込んでください。「カメラへのアクセスを求めています」が表示されたら「許可」をお願いします。

②左の一樂照雄にカメラを向けると写真部分がピックアップされるのでそれをタップすると、あなたの目の前で一樂照雄がしゃべりだします。

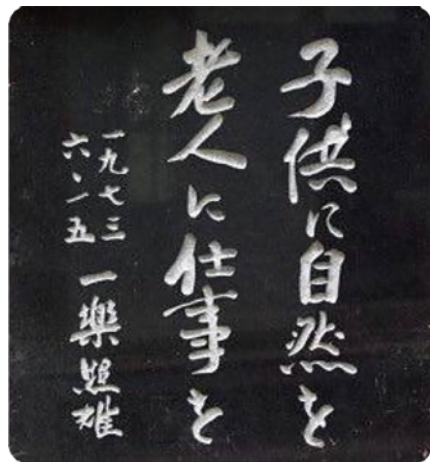
※サーバーの上限に達した場合に閲覧できない場合があります。予めご了承ください。



2月からの1ヶ月は一樂先生が協同組合と有機農業についての問いかけに答えてくれます。

生成AIで復元プロジェクト進行中

JA東とくしまは(株)日本農業新聞(JA-DX推進研究会)、NPO法人日本有機農業研究会、一樂ご子息様に協力頂き生成AIで復元プロジェクトを進めています。



生前に一樂照雄氏が掲げた言葉

徳島県(旧：那賀郡羽ノ浦町)で産まれた一樂照雄氏は日本の有機農業、そして戦後の農業協同組合の設立にも尽力し、生産者と消費者が分断され、モノを売り買いするだけの関係に陥っている社会を克服する道として「自立と協同」を説きま

した。その『有機農業の父』の出生地ということから、東とくしま農業協同組合では一樂照雄氏の偉業と意思を受け継ぎ、現在、みどりの食料システム戦略を実践しています。そして誕生したお米がブランド

銘柄「本いしご一樂米」です。



おいらら一樂米うkgイメージ